

平成 15 年 3 月期

## 追加注記事項の開示

平成15年6月25日

[ 米国の会計基準により作成 ]

上場会社名 三菱商事株式会社

上場取引所 東大名

コード番号 8058

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.mitsubishi.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 佐々木幹夫

問合せ先責任者 役職名 コントローラー・オフィス

予・決算管理ディレクター

氏名 蜂谷由文

TEL (03)3210-2813

決算取締役会開催日 平成15年5月14日

米国会計基準採用の有無

有

平成15年5月14日に発表いたしました、平成14年度決算（平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）の追加注記事項が確定しましたので、ご報告申し上げます。

## 【法人税等】

本邦における法人税等は、法人税、事業税及び住民税から構成されており、これら本邦における税金の法定税率を基礎として計算した法定実効税率は平成14年度において42%です。平成15年3月31日付の地方税法の改正により税率が引き下げられたことに伴い、平成16年4月1日以降開始年度に対応する当社及び国内連結子会社の標準実効税率が42%から41%へ変更されました。変更後の税率を反映すべく繰延税金資産及び繰延税金負債残高を修正した結果、平成14年度において税金費用が増加しております。また、海外子会社に対しては、その所在国における法人所得税が課せられております。

平成14年度及び平成13年度の法定実効税率と連結財務諸表上の実効税率の差異要因は以下の通りです。

	平成14年度	平成13年度
法定実効税率	42.0%	42.0%
税務上の損金不算入額	6.0%	5.2%
税効果を認識しない子会社の当期損失	12.8%	6.3%
当期に認識した子会社の過年度損失の税効果	0.2%	1.1%
低税率諸国にある海外子会社の当期利益	9.7%	7.0%
受取配当金	9.6%	1.4%
税率変更の影響	3.1%	-
その他	0.6%	0.7%
実効税率	63.0%	46.1%

平成14年度及び平成13年度に認識された法人税等の総額は、次の各科目に計上しております。

	平成14年度 (百万円)	平成13年度 (百万円)
法人税等	38,302	45,875
持分法による投資損益	4,802	17,544
その他の包括損益	62,767	36,154
合計	19,663	7,823

平成15年3月末及び平成14年3月末における繰延税金資産及び負債の主な構成項目は以下の通りです。

	平成15年3月末 (百万円)	平成14年3月末 (百万円)
繰延税金資産		
貸倒引当金	60,122	52,299
退職給与及び年金債務	105,624	56,892
固定資産評価損	11,958	15,929
繰越欠損金	30,282	36,629
未払費用等	55,649	59,537
繰延税金資産(総額)	263,635	221,286
評価性引当金	36,955	37,008
繰延税金資産(評価性引当金控除後)	226,680	184,278
繰延税金負債		
減価償却費	23,541	22,474
有価証券及びその他の投資	36,985	63,401
有形固定資産及び無形固定資産	52,995	29,528
その他	25,674	25,090
繰延税金負債(総額)	139,195	140,493
繰延税金資産(純額)	87,485	43,785

評価性引当金は、将来税務上減算される一時差異及び繰越欠損金について認識した繰延税金資産のうち、実現が不確実と判断される部分に対して設定したものであり、平成13年度において2,338百万円増加し、平成14年度において53百万円減少しております。

繰延税金資産(純額)は、平成15年3月末及び平成14年3月末の連結貸借対照表上、以下の各科目に計上しております。

	平成15年3月末 (百万円)	平成14年3月末 (百万円)
流動資産 - 短期繰延税金資産	55,651	48,170
その他の資産	96,467	32,051
流動負債 - その他の流動負債	2,297	2,701
固定負債 - 長期繰延税金負債	62,336	33,735
繰延税金資産(純額)	87,485	43,785

平成15年3月末において、連結財務諸表上、繰延税金負債を認識していない子会社の未分配利益は331,989百万円です。尚、国内子会社の未分配利益の大部分は、一時差異には該当しないものと判断しております。また、海外子会社の未分配利益に対する繰延税金負債金額の算定は、実務上困難です。

平成15年3月末において、連結会社の有する税務上の繰越欠損金は総額84,615百万円であり、これらは将来発生する課税所得を減額するために使用することが可能です。平成15年3月末における失効期限別の繰越欠損金額は以下の通りです。

失効期限	平成15年3月末 (百万円)
平成16年3月31日まで	5,774
平成17年3月31日まで	7,100
平成18年3月31日まで	12,948
平成19年3月31日まで	19,122
平成20年3月31日まで	9,757
平成20年4月1日から平成25年3月31日まで	7,565
平成25年4月1日から平成30年3月31日まで	602
平成30年4月1日以降	21,747
合計	84,615

平成14年度及び平成13年度における税引前利益（損失）の内訳は以下の通りです。

	税引前利益（損失） (百万円)		
	当社及び国内子会社	海外子会社	合計
平成13年度	34,417	65,102	99,519
平成14年度	16,760	77,594	60,834

平成14年度及び平成13年度における法人税等の内訳は以下の通りです。

	(百万円)		
	当社及び国内子会社	海外子会社	合計
平成13年度			
当期税金	22,503	23,039	45,542
繰延税金	5,139	4,806	333
合計	27,642	18,233	45,875
平成14年度			
当期税金	30,751	25,517	56,268
繰延税金	16,752	1,214	17,966
合計	13,999	24,303	38,302

【年金及び退職給付債務】

当社及び一部の連結子会社は、役員を除くほぼ全従業員を対象とした従業員非拠出型の確定給付型年金制度を設定しております。当年金制度における給付は、勤続年数及び退職時の給与水準等に基づき算定されます。

また当社及び一部の連結子会社は、ほぼ全従業員を対象とする従業員拠出型の確定給付型終身年金制度を設定しており、当年金制度では60歳から支給が開始されます。一部の連結子会社及び関連会社は、ほぼ全従業員を対象とする従業員拠出型の確定給付型終身年金制度（ダイヤ連合厚生年金基金制度）に加入しており、当年金制度では60歳から支給が開始されます。

これらの従業員拠出型年金制度は、厚生年金保険法に則り、会社側及び従業員側の代表者からなる理事会により運営・管理されております。また、これらの制度は国の年金制度の一部を会社が代行する基本部分と会社が独自に上乗せを行った加算部分により構成されますが、年金資産の管理・運用は両者を統合した形で行っております。年金資産への拠出は会社と従業員の双方が行いますが、当制度での給付債務を十分満たすよう拠出を行う義務は会社側にあります。

連結会社は、年金制度の積立にあたり、税務上損金算入できる範囲で拠出することを基本方針としておりますが、拠出額は過去の役務提供に対する給付に加え、将来の役務提供に対する給付を賄うことをも志向しております。また、平成14年3月及び平成15年3月において、当社は市場性のある株式を、当社の従業員拠出型年金制度及び従業員非拠出型年金制度のために設定した従業員退職給付信託に拠出しました。

上記の年金制度に加え、多くの国内連結子会社は、役員を除く従業員を対象とする非積立型退職一時金制度を設定しております。この制度は、定年退職または早期退職の際に、対象者に対し退職時の給与水準や勤続年数等に応じた退職一時金を支給するものです。

平成14年度及び平成13年度において、連結会社の年金制度及び連結子会社の退職一時金制度に係る期間純年金費用は以下の通りです。

	平成14年度 (百万円)		平成13年度 (百万円)	
	従業員拠出型 年金制度	従業員非拠出型 年金制度	従業員拠出型 年金制度	従業員非拠出型 年金制度
勤務費用	6,743	6,209	7,461	6,213
利息費用	10,309	2,294	10,067	2,443
年金資産の期待運用収益	6,003	1,424	8,534	1,757
数理計算上の差異の償却費用	9,007	3,826	7,641	3,982
過去勤務債務の償却費用	166	78	117	242
会計基準移行時差異の償却費用	163	18	163	20
清算に係る損失		3,657		
期間純年金費用	20,053	14,622	16,915	11,103

平成14年度及び平成13年度において、連結会社の給付債務及び年金資産の変動、年金制度の財政状況及び連結貸借対照表計上額の内訳は以下の通りです。

(百万円)	平成14年度		平成13年度	
	従業員拠出型 年金制度	従業員非拠出型 年金制度	従業員拠出型 年金制度	従業員非拠出型 年金制度
給付債務の変動：				
期首予測給付債務	346,376	96,874	336,340	89,981
勤務費用	6,743	6,209	7,461	6,213
利息費用	10,309	2,294	10,067	2,443
従業員拠出額	2,317		2,205	
制度改定	205	1,106		
数理計算上の差異	67,908	6,606	536	2,036
退職給付支払額	10,213	3,401	9,161	4,191
退職一時金の支払及び清算		7,916		6,135
新規連結及び連結除外の影響	2,051	3,556		5,402
為替換算調整		974		1,125
期末予測給付債務	425,696	102,142	346,376	96,874
年金資産の変動：				
期首年金資産公正価値	282,674	57,810	260,780	57,977
年金資産運用損益	53,477	10,258	17,624	4,620
会社拠出額	22,241	26,362	46,474	8,415
従業員拠出額	2,317		2,205	
退職給付支払額	10,213	1,923	9,161	2,139
退職一時金の支払及び清算		6,637		6,135
新規連結及び連結除外の影響	1,165	206		3,228
為替換算調整		748		1,084
期末年金資産公正価値	244,707	64,812	282,674	57,810
年金制度の財政状況と連結貸借対 照表に計上した純額との調整：				
年度末時点の財政状況	180,989	37,330	63,702	39,064
未認識数理計算上の差異	264,151	38,599	145,578	26,941
未認識過去勤務債務	389	19		1,245
会計基準移行時差異未償却残高	156	3	319	23
連結貸借対照表に計上した純額	83,707	1,247	82,195	10,901
連結貸借対照表計上額の内訳：				
前払年金費用（「その他の流動資 産」に含む）		5,223		3,306
年金及び退職給付債務	156,615	35,949	49,064	33,378
無形固定資産（「その他の資産」 に含む）	2,306		319	1,161
累積その他の包括損益（税効果考 慮前）	238,016	31,973	130,940	18,010
連結貸借対照表に計上した純額	83,707	1,247	82,195	10,901

従業員拠出型年金制度において、累積給付債務が年金資産を超過する年金制度の予測給付債務、累積給付債務、年金資産公正価値の合計額は、平成14年3月末において、それぞれ346,376百万円、333,038百万円、282,674百万円であり、平成15年3月末において、それぞれ425,696百万円、401,322百万円、244,707百万円です。

従業員非拠出型年金制度において、累積給付債務が年金資産を超過する年金制度の予測給付債務、累積給付債務、年金資産公正価値の合計額は、平成14年3月末において、それぞれ91,014百万円、81,200百万円、51,145百万円であり、平成15年3月末において、それぞれ95,981百万円、90,750百万円、59,559百万円です。

平成14年度及び平成13年度において年金数理計算上使用した前提条件は以下の通りです。

	平成14年度		平成13年度	
	従業員拠出型 年金制度	従業員非拠出型 年金制度	従業員拠出型 年金制度	従業員非拠出型 年金制度
加重平均割引率	2.0%	2.1%	3.0%	3.3%
平均昇給率	2.1%	4.1%	2.3%	4.1%
長期期待運用収益率	2.9%	4.3%	4.0%	4.8%

(注) 海外子会社分が含まれております。

当社は従業員に対して早期退職制度を有しております。従来当制度では、満50歳以上且つ勤続15年以上の従業員が定年退職年齢である60歳以前に退職した際に、通常の退職金に加算して特別加給金を支給していましたが、平成10年11月の制度改定により、平成12年4月2日以降の応募者については特別加給金の支給が廃止されることになりました。但し、制度改定時の海外駐在員及び事務職掌については、例外的に平成15年4月1日を応募期限としたため、平成14年度において当制度の利用者が多数に上ることとなりました。当制度関連費用の未払金額は、予想される将来キャッシュ・フローの割引現在価値で計上しております。この未払金額は、平成14年3月末及び平成15年3月末においてそれぞれ29,631百万円、32,083百万円であり、連結貸借対照表上はこれらをその支払時期により「未払費用」及び「年金及び退職給付債務」に計上しております。また、当制度関連費用は、平成13年度及び平成14年度においてそれぞれ4,387百万円、13,968百万円であり、連結損益計算書上はこれらを「販売費及び一般管理費」に計上しております。